2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	消化器侵襲的画像診断治療学研究	河本 博文

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

低侵襲治療のために消化器領域の診断治療で現在行われている，あるいは，これから行われるInterventionの有用性を評価する能力を修得する。

授業到達目標

（1）臨床研究の手法を学び，それぞれの手法を説明できる。
（2）多施設共同研究に参加して，研究の進め方，プロトコールの書き方を学び，自分で研究を立案できる。
（3）臨床研究を主導することができる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	木	13:30 - 14:30	河本 博文 末廣 満彦 浦田 矩代 谷川 朋弘 西野　謙	（1）消化器疾患の診断治療における Intervention の最新情報について （2）臨床研究施行のためのプロトコール作成について

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784758110648，胆膵内視鏡の診断・治療の基本手技（改訂３版），糸井隆夫，羊土社，2017

参考書

ISBN-9784883787098，とことん知りたい ERCP の手技のコツ（消化器内視鏡レクチャー１巻３号），糸井隆夫，総合医学社，2013
ISBN-9784758110464，胆膵内視鏡治療手技の極意とトラブルシューティング，小池和彦（監），羊土社，2012

準備学習（予習・復習等）

（1）関連する手技の論文を毎週授業前に必ず複数読んでおくこと。
（2）最新の手技は単に教科書を読むだけではなく，実技の補助にまず参加し，方法や使用するデバイスについて十分理解すること。更に毎週の授業後も復習を行うこと。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卓越した内視鏡技能，臨床研究作成および実践能力，論文作成能力を獲得する。

注意事項・メッセージ

最新の英文論文を読んで常に知識をアップデートしておくこと。